



いちのみや大学第 67 回講座

原木シイタケの 植え付け体験をしてみよう



日 時: 3月2日(日)午後3時から4時半
会 場: いわいハウジング (一宮市八町通2丁目4)
講 師: きのこ工房 u. p. ファーム 長谷川 元さん
定 員: 20名
参加費: 2000円(マイ原木1本、シイタケ試食付)
持ち物: 軍手、汚れてもいい服装(スカートは不可)

原木シイタケと聞くと、山の中で、丸太を並べて作っているイメージがありますが、この平野ばかりの一宮でも、おいしい原木シイタケを作っているところがあります。

きのこ工房 u. p. ファーム 長谷川 元さんは、高山から原木を運んできて、一宮の豊かな地下水を利用し、建物の中で時間をかけてシイタケを栽培しています。育った原木シイタケは、一般的な菌床で作られたシイタケとは違い、味が濃く格段のおいしさです。

今回はその長谷川さんにご協力いただき、原木に自分でシイタケの種を植え付け、それをきのこ工房で半年間管理してもらって、10月下旬か11月頃に受け取るという講座です。

原木シイタケがどんなにおいしいか、ちょっぴり試食もします。

会場のいわいハウジングさんの住まいるぎやらりーは、木の質感・性能を活かしつつ、一年中快適な生活を実現する住宅を提案していて、木質燃料のペレットを燃やすペレットストーブや、エコ住宅の資料などが見学できます。



「原木シイタケの植え付け体験をしてみよう」

- ・日時: 3月2日(日)15:00~16:30
- ・会費: 2000円
- ・定員: 20名(要事前申込)
- ・場所: いわいハウジング (一宮市八町通2丁目4)
駐車場あり
- ・お問合せ・お申込み:
いちのみや大学事務局(有限会社人の森 内)
メール info@ichinomiyaigaiku.com
電話 080-4227-8641 / FAX 0586-72-5445
キャンセルの場合はお早めにご連絡ください。
☆詳しくはホームページにて <http://ichinomiyaigaiku.com>



◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、一宮の街をまるごとキャンパスにし、
一宮にこんなすばらしい人がいることの紹介
一宮近辺の郷土の歴史・文化の勉強
一宮の自慢の場所の見学など
ともに豊かに学んでいこうという生涯学習の市民活動です。

◆これからの講座の予定は？

月日	曜日	場所	講師	内容
2月11日 13:30～	火 祝	i-ビル3階 市民活動支援 センター会議室	落語家 司馬 龍鳳さん	えー、お笑いを一席 落語家入門ワークショップ 受講料 1000円
1月11日 10:30～	土	i-ビル3階 市民活動支援 センター会議室	元一宮市立北方中学校校長 田中 豊先生	尾張藩主岐阜お成りの事受講料 500円 今回は 10:30 からですのでご注意ください！

これまでに開催した講座：デジカメ講座、シャンソン、アフリカの音楽、ジャズピアノ、ヴァイオリンについて、古典落語、アートについて、洞窟探検の魅力、ネパール料理、韓国料理、日本茶、おから味噌、うすずみ桜と真清田神社のなぞ、織田信長のこと、美濃路・起宿について、船橋楽器資料館、プラネタリウム、葛利毛織、妙興寺、尾西繊維協会ビル等の見学など

◆いちのみや大学の講座は、どこで知ることができるの？

いちのみや大学

検索 

・いちのみや大学ホームページ

<http://ichinomiyadaigaku.com> で、学生登録(無料)をしていただくと、新しい講座の案内を月1回、メールでお知らせします。

登録方法→いちのみや大学ホームページの上部にある**学生登録**のボタンをクリックし、受講者登録をしてください。受講したい時は、ログインして、受講したい講座名をクリックし、講座詳細のページの下にある**受講予約を申し込む**のボタンを押すと、受講の申し込みができます。

・チラシ

市役所(各庁舎)、市民活動支援センター、尾西歴史民俗資料館、三岸節子記念美術館、一宮市博物館、織部亭、野の花、三八屋、ちやらん家、馬宿、ヘアー・シャンティなどで配布

・中日新聞など

中日新聞 『おでかけガイド』(金曜日に掲載)

中日新聞ニコミ紙 『タウンニュース』(毎月1日発行 一宮北部専売所 末広、富士、貴船学区方面)、『ほっと！タイムス』(毎月15日発行 一宮市西部、萩原、戸塚、大和、西御堂地区販売店)などに掲載しています。